

第VI部門

2024年9月5日(木) 10:40 ~ 12:00 血 A403(川内北キャンパス講義棟A棟)

積算・契約

座長：嵩直人（鹿島建設）

11:10 ~ 11:20

[VI-30] 総合評価落札方式における得点配分に関する試算

*星野 誠¹、木村 泰¹、松田 奈緒子¹ (1. 国土交通省 国土技術政策総合研究所)

キーワード：総合評価落札方式、入札・契約制度、技術評価点、落札率、工物品質

国土交通省直轄工事では、一般競争入札・総合評価落札方式を大部分に適用している。技術評価点算出に使用する標準点、加算点、施工体制評価点の標準的な配点は長年変更されてないため、現在の配点が適正なのか確認する必要がある。本研究では、全国の各地方整備局等で発注されている総合評価落札方式を適用した工事を対象として、技術評価点算定の得点配分を変えた場合の影響について試算を行った。本研究では、全国の各地方整備局等で発注されている総合評価落札方式を適用した工事を対象として、技術評価点算定の得点配分を変えた場合の影響について試算したので報告する。

総合評価落札方式における得点配分に関する試算

国土交通省 国土技術政策総合研究所 正会員 ○星野 誠
 国土交通省 国土技術政策総合研究所 正会員 木村 泰
 国土交通省 国土技術政策総合研究所 正会員 松田 奈緒子

1. はじめに

2005(平成 17) 年の「公共工事の品質確保の促進に関する法律」成立を契機に、一般競争入札・総合評価落札方式の適用が急速に拡大し、現在では、国土交通省直轄工事の大部分に一般競争入札・総合評価落札方式を適用している。総合評価落札方式は、価格と価格以外の要素（品質など）を総合的に評価して落札者を決定する方式で、落札者を決定するための指標である評価値の算出方法は、品質などを評価した技術評価点を入札価格で除する除算方式を原則適用している。技術評価点算出に使用する標準点，加算点，施工体制評価点は、標準的な配点を定めて使用されており，配点は長年変更されていないため，現在の配点が適正なのか確認する必要がある。

本研究では、全国の各地方整備局等で発注されている総合評価落札方式を適用した工事を対象として、技術評価点算定の得点配分を変えた場合の影響について試算したので報告する。

2. 検討方法

各地方整備局等（港湾・空港を除く）において、2021 年度に総合評価落札方式により発注された工事のうち、施工能力評価型 I 型・II 型：7712 件，技術提案評価型 S 型：262 件の入札結果を対象として、表

検討ケース	変化対象	施工能力評価型（I 型・II 型）				技術提案評価型（S 型）				
		技術評価点				技術評価点				
		標準点	加算点	施工体制評価点	合計	標準点	加算点	施工体制評価点	合計	
現行		100点	40点	30点	170点	100点	60点	30点	190点	
1	標準点 (現行100点)	150点	150点	40点	30点	220点	150点	60点	30点	240点
2		50点	50点	40点	30点	120点	50点	60点	30点	140点
3	加算点 (現行40点,60点 × 1.0倍)	0.5倍	100点	20点	30点	150点	100点	30点	30点	160点
4		1.5倍	100点	60点	30点	190点	100点	90点	30点	220点
5		2.0倍	100点	80点	30点	210点	100点	120点	30点	250点
6	施工体制評価点 (現行30点)	15点	100点	40点	15点	155点	100点	60点	15点	175点
7		0点	100点	40点	0点	140点	100点	60点	0点	160点

-1 に示す技術評価点の算定に使用されている現行の標準点，加算点，施工体制評価点の標準的な得点配分¹⁾を各検討ケースに示す配点で現行から変化させる試算を行い，落札者の変動状況等の確認を行った。

3. 分析結果

以下に分析結果を記す。グラフは、変化対象ごとに右側ほど技術評価点に占める加算点の割合が大きくなるように配置した。

1) 落札者の変動状況

試算の結果，落札者の変動した件数（割合）を図-1 に示す。施工能力評価型及び技術提案評価型のいずれのケースにおいても落札者の変動は小さかった。「加算点」を変化させた場合の落札者の変動が、「標準点」や「施工体制評価点」を変化させた場合よりも大きかった。

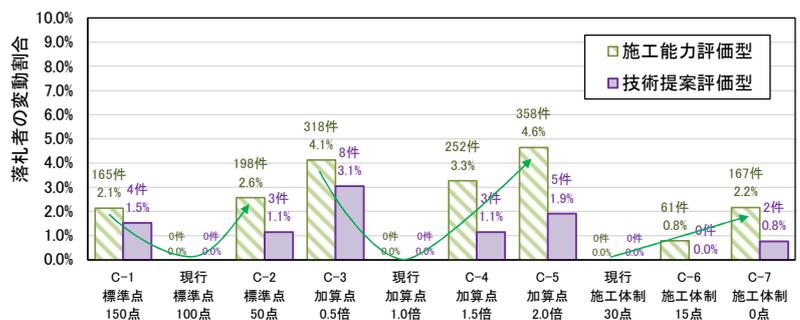


図-1 落札者の変動状況

2) 価格順位と落札率

価格順位1位の落札者と平均落札率の変動状況を図-2に示す。技術提案評価型では、いずれのケースにおいても変動は小さかった。施工能力評価型の標準点、加算点を変化させたケースでは、技術評価点に占める加算点の割合の増加に従って価格1位の落札者の減少や平均落札率が増加する状況が見られた。

3) 技術評価点得点順位と得点率

技術評価点順位1位の落札者と平均得点率の変動状況を図-3に示す。いずれのケースにおいても変動は小さかった。施工能力評価型の標準点、加算点を変化させたケースでは、技術評価点に占める加算点の割合の増加に従って技術評価点1位の落札者の増加や平均得点率が増加する状況が見られた。

4) 工事情質の変動状況

落札者の変動件数が比較的多い施工能力評価型を対象とし、落札者の変動した工事における落札者の工事成績平均点(過去5年平均)を図-4に示す。各ケースとも工事成績平均点は現行と同程度であった。

4. おわりに

各地方整備局等で総合評価落札方式を適用した工事を対象として、技術評価点の各設定値を変えた場合の影響の試算を行った結果、落札者の変動、落札者の落札率・得点率・工事成績平均の変化は小さかった。施工能力評価型の標準点及び加算点を変化させたケースでは、落札率及び技術評価点得点率の若干の変化がみられたものの、価格と品質のバランスを考慮すると現行の技術評価点の各構成要素の設定値には特に問題は見当たらなかった。

各地方整備局等で使用している総合評価落札方式では施工体制評価型の試行を含むダンピング対策により低入札は少ない状況にあるものの、品質が十分評価され、品質向上につながっているか、より詳細な分析を行い、検討していく予定である。

各地方整備局等で使用している総合評価落札方式では施工体制評価型の試行を含むダンピング対策により低入札は少ない状況にあるものの、品質が十分評価され、品質向上につながっているか、より詳細な分析を行い、検討していく予定である。

参考文献

- 1) 国土交通省直轄工事における総合評価落札方式の運用ガイドライン 2023年3月 国土交通省

<https://www.nilim.go.jp/lab/peg/img/file2017.pdf>

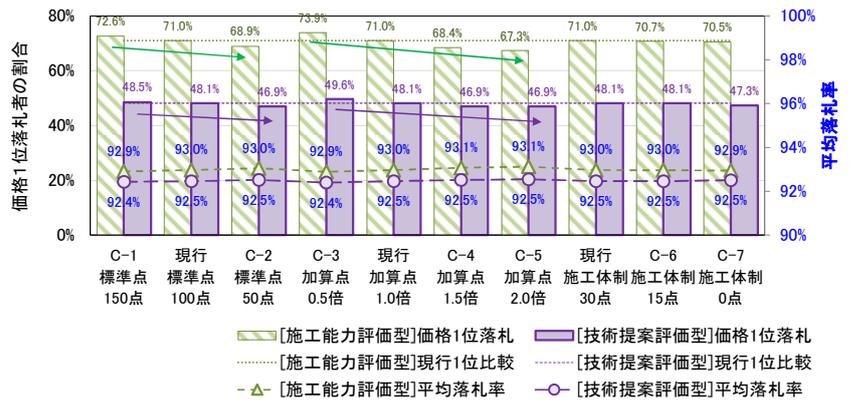


図-2 価格1位落札者と落札率の変動状況

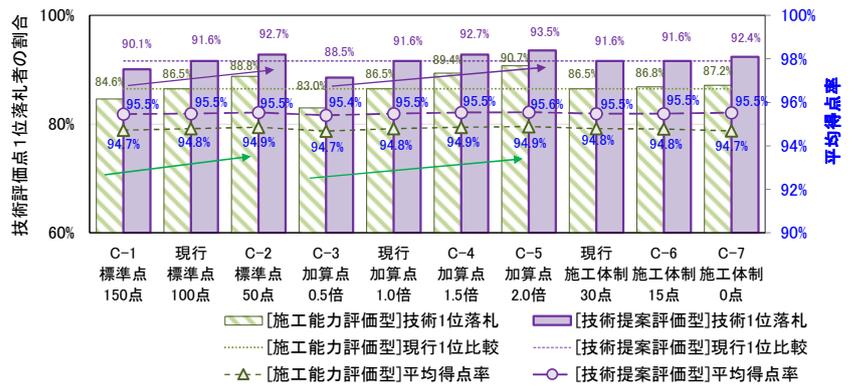


図-3 技術評価点1位落札者と得点率の変動状況

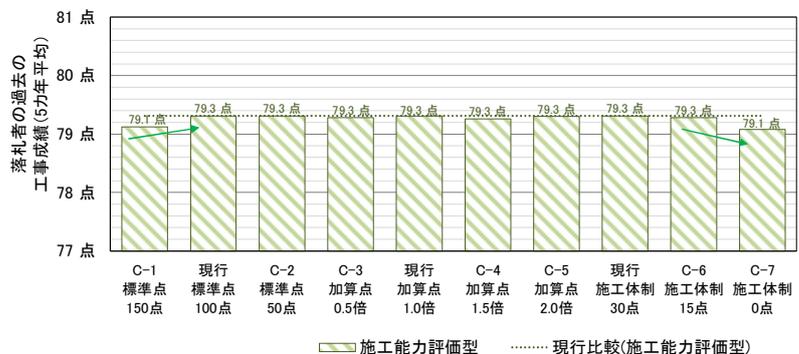


図-4 変動した落札者の過去の工事成績平均点